

六郷特別出張所管内	
人口	男 33,733人
	女 31,948人
	計 65,681人
世帯数	33,008世帯
平成27年6月1日現在	

# 六郷わがまち

発行：地域力推進六郷地区委員会  
 編集：「六郷わがまち」編集委員会  
 事務局：大田区六郷特別出張所  
 〒144-0055 大田区仲六郷二丁目44番11号  
 電話 03(3732)4885  
 FAX 03(3735)6249

六郷わがまち

## わがまちの防災

### 市民消火隊とともに

常日頃からの防災意識は、私たちの生活にとって必要不可欠なものとなっています。今年二月二十二日（日）、地域の防災意識のさらなる向上を図るため、六郷地域力推進センターで「六郷地域防災フェスタ」が開催されました。「連携・協働」を合言葉に参加者は千名を超え、これをきっかけに市民消火隊へ入隊を希望する方もでるなど、防災意識の啓発イベントとなったことはまだ記憶に新しいのではないのでしょうか。

3・11以降、「自助・共助・公助」が取り上げられる中、六郷地区の市民消火隊長から活動内容についてお話を伺いました。今回は消火隊の活動をご紹介します。



### 一・役割

昭和48年、東京都震災予防条例の避難道路の確保に関する条項により、地震火災時の初期消火の重要性と道路周辺の延焼防止を目的として、六郷地区国道沿い4町会にC級ポンプが配備され、区民の自主消火態勢を確立するため市民消火隊が組織化されました。

#### 【震災時の隊員活動の役割】

- ① 防災リーダーとして家族や隣近所の協力を得て、消火器やバケツリレーなどで初期消火に努める。
- ② 我が家の安全を確認した上、素早くポンプ隊として出動、地域内の初期消火活動に対応する。
- ③ 消防隊や消防団が火災現場に到着したら、その指示に従って行動する。
- ④ 必要に応じて負傷者の救出、応急救護の人工呼吸・心肺蘇生、住民の避難誘導にも携わる。

### 二・活動状況

防災市民組織の中核と位置づけられ、町会・自治会にあっては防火部等に属しています。隊員数や年齢構成、経験年数については下記の表にまとめました。

なお、六郷15町会の市民消火隊によって構成されている「六郷地区市民消火隊委員会」は、日々の訓練成果を披露する場として「六郷地区市民消火隊操法大会」を年一回、多摩川緑地にて開催。その活動が評価され平成24年には「第8回地域の防火防災功労賞最優秀賞（消防総監賞）」を受賞しています。行政の企画ではなく、市民消火隊独自の計画の下で操法大会を行っているのは、区内で六郷地区のみです。

### 三・日々の訓練

消火ポンプを使った操法訓練は、蒲田消防団第六分団、矢口消防団第七分団の指導の下に、仕事を終えて夜間からの場合は概ね午後7時から9時、日曜日の場合は午前10時から12時まで、町内の道路や施設の敷地を借用し行われます。近隣の施設と協同し、その一角を訓練場所として利用している町会もあります。

この他、主な活動は応急救護訓練の実施、祭礼や盆踊りなど各種イベントの交通整理や警備、町会防災訓練、夜間の町内安全見回りなどがあります。

六郷地区市民消火隊 隊員構成表 (平成27年4月時点)

市消火隊	発足時期										隊長	隊員数		年齢	経験年数
	昭和				平成							男	女		
	48年	51年	57年	63年	5年	9年	10年	11年	...	27年					
南一					→						鈴木秀夫	9	4	39~70	1~16
南二					→						佐藤 隆	15	2	37~67	1~26
南二団地					→						先崎佳子	3	3	49~70	10~14
南三					→						佐藤 登	10	7	38~89	1~40
東一					→						森 晃	13	1	49~73	2~35
東二					→						藤井法幸	12	3	32~67	5~45
東三					→						加藤誠二	12	0	40~65	5~18
宮本					→						湯浅久二	8	0	40~77	0~30
仲一					→						渋谷正敏	14	6	45~72	1~16
仲二					→						関口誠仁	7	0	41~63	22~26
仲三					→						川又 勉	8	0	52~76	5~20
仲四					→						日川正男	11	0	46~66	0~37
西一					→						池田謙三	15	8	25~82	1~33
西二					→						高木明子	10	1	52~67	1~16
高畑					→						鈴木 健	8	3	33~78	1~15



平成26年11月 六郷地区市民消火隊操法大会の様子  
 六郷地区市民消火隊操法大会は来年20周年を迎える。毎年、出場者・見学者を含め300名以上が参加し、防災意識高揚の一助となっている

一例ですが、3・11の災害を機に震度5以上になったら、隊員は町会指定の一時避難場所の公園に集まり、各戸の巡回を行うことを申し合わせている隊もあります。



## 現状と取り組み

隊長から伺った消火隊の実情について、どの隊長からも同様にあげられたことは、次のようなことでした。

(1) 市民消火隊が結成されてからほとんどの隊員がそのまま歳を重ね、世代交代もままならず今日に至っている。そのため、消火に必要な知識やポンプ操作などの技術の共有化が図られない。

(2) 新しい隊員の勧誘はポスターや他の機会があるごとに行っているが、なかなか集まらない。クチコミによる入隊勧誘が唯一の確実な手段となりつつある。

(3) 隊員の多くが日中、地域外での仕事に従事しており、地元の災害活動に対応できないおそれがある。

現実には直下型大地震に遭遇した場合に、隊員の方は次のようなことも懸念されています。

- ・ 基本行動が実際にできるのか。
  - ・ 消火栓が使えない不測の事態に陥る可能性があるのではないか。
  - また、訓練時には次のような苦情が寄せられることもあります。
  - ・ ポンプのエンジン音がうるさい。
  - ・ 通りかかった自動車の通行に困る。
  - ・ 夜間の照明が明るい。
  - ・ 放水後の水たまりが迷惑だ。
- こうした苦情に対しても、訓練の情報を広く周知して、理解が得られるよう取り組んでいます。
- 日中は男性隊員が仕事で不在になるため、最近では男性よりも、女性隊員

また、応急救護訓練では、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方なども習得して緊急時に備えています。

消火隊の訓練内容を生かし、地域の防災訓練など住民の方々と一緒に積極的に参加しています。

また、区も総合防災力強化事業の一環として、人材の確保並びに育成を課題として取り上げ、中・高校生の参加並びに区内の事業所に勤務する人たちの協力を要請しているとのことです。

これらは、日中の隊員空洞化対策と住民の防災意識向上に大いに期待されるでしょう。もちろん、市民消火隊が防災市民組織の中核であることに変わりはありません。



女性隊員も活躍しています！

身近に活動する消火隊の方々と一緒に防災意識を高め、自分たちの町は自分たちで守る第一歩として、まずは町会の防災訓練に参加しませんか。

## トピックス

社会を明るくする運動【六郷地域集会】

### ◆アイリッシュハープコンサート(講演付)

講演テーマ ♪身も心もいやされるメロディー♪  
子ども達が安心して暮らせる地域にするためにできることは？

日時：7月11日(土) 14:00～16:00

会場：地域力推進センター4階

講師：永山 友美子

定員：300名(要申込み)



ハープ体験もできるよ♪

入場無料!!

内容

♪講演・ハープ演奏

♪刑務作業品「CAPIC」販売

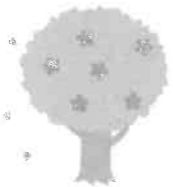
※先着10名保育付(要予約)

※詳細は出張所(3732-4885)へお問い合わせください。

### ◆南二町会「さくら功労者表彰」受賞

南六郷二丁目町会は昨年3月、南六郷小学校4年生の児童たちとともに桜の植樹を行い、その根元にタイムカプセルを埋めました。現在も、町会と学校が連携し、桜の育成を見守っています。

その活動が評価され、今年4月「さくら功労者表彰」(公益財団法人日本さくらの会)を受賞しました。さくらの保護・育成等に関し他の模範となる団体に贈られ、都内で表彰を受けたのは3団体のみです。



### ◆防災フェスタ ポスター展 結果発表

2月22日(日)に開催された「六郷地域防災フェスタ」にて、六郷工科高校デザイン工学科3年生(当時)が制作した防災フェスタのポスター・チラシ作品を展示し人気投票を行いました。

299名に投票していただき、見事人気No.1に輝いたのはこちらの作品です！



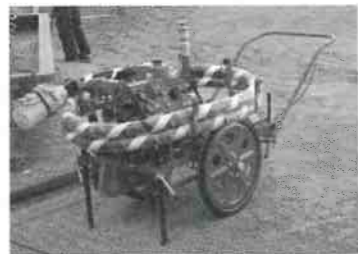
### 編集後記

15名の隊長様にはインタビューに協力いただき、大変ありがとうございました。

直接お会いしたことで実際の状況が良く分かり貴重な体験となりました。事前に用意した質問事項に沿ってお話を伺いましたが、大変なご苦労と責任感溢れる対応に頼もしさを感じました。市民消火隊の皆様は、ボランティアとして任務に最善を尽くしています。私たち地域住民も防災意識を常に持ち、災害への備えを怠らないよう肝に銘じましょう。

『私たちのまち六郷』を災害から守る消火隊の活動が、地域の企業や学生などにも協力していただけるようになることを期待してやみません。

担当編集委員：宮野(南三)・守屋(東三)・土屋(仲一)・佐藤(西一)



C級ポンプ



D級ポンプ

【消火隊が使用している消火ポンプについて】  
一般的に使用されているのがC級ポンプ。D級ポンプは、C級に比べ放水性能は低いが軽量で扱いやすい。3.11以後、せまい道路でも使用でき、動力不要の(消火栓等の圧力で放水する)スタンドパイプが配備された。



スタンドパイプ